

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校

2020. 8. 4

いきいき なかよく ほこりを持って 第7号

明日で1学期が終了 いよいよ夏休み！ 保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました

明日、1学期終業式を迎えます。今までにない対応に常に迫られる1学期でした。

始業式、入学式は行ったものの、再び長い長い臨時休業になりました。各担任の書く学級だより等をもとに、子どもたちは家庭学習に実によく取り組んだと思います。担任の電話連絡も、本校の場合は実にスムーズでした。改めてご協力に深く感謝申し上げます。

学校が再開されると、子どもたちにも職員にも笑顔が戻りました。地域の方々から、登下校の熊鈴の音が励みになったという声を数多くいただきました。しかしながら、学校での学習活動には制約だらけでした。夏休みは大きく短縮、主な学校行事やPTA活動の延期や中止を余儀なくされ、様々なガイドラインのもと「3密」を避けて学習活動を進めてみると、水泳の授業の中止、音楽の授業等もまだ本来の姿ではありません。子どもたちも不自由を感じたことでしょう。

しかし、大きな学びがあったと思います。一つは、保護者や地域の方々からの数多くのご寄贈など、人の心の温かさです。もう一つは、こういう状況下だからこそ、職員も子どもも一人一人「自分事～気づき・考え・行動する～」ことの大切さです。その結果、「チーム添川小」の結束力は大きく高まったことが感じられました。今後もこの学びを大切にしていきたいです。

改めて、保護者の皆様、地域の皆様、特段のご支援とご協力、誠にありがとうございました。

1学期の「全員登校日」は、今日まで37日。もちろん、全員登校日の「日数」にばかりこだわらなかりはありませんが、子どもたちにもご家庭にも職員にも励みになる数字です。

子どもたちもご家庭も職員もみんな、感染症をしっかりと予防して、楽しく充実した夏休みを過ごし、元気に2学期始業式を迎えられること。それがいちばんの願いです。



最後に、この時期ならではのエピソード。

写真は昨日の3校時、1年生と梅津教務主任がサトイモ畑のトネリコの木にカブトムシを大量発見！
第一発見者のひろき君は一躍大ヒーローです。

聞いてみると、この時間だけで16匹もとれたそうです。新野さんにいただいた堆肥から生まれたのか、草捨て場から出てきたのか不明ですが、子どもたちにはうれしい夏のプレゼントになりました。

校長は精神年齢が一気に半世紀分若返りました。

<ミニコラム> 子どもの心とことばを育てるために（その3）

子どもの「ストレス耐性」とは何か

今回は、子どもの「ストレス耐性」について考えてみたいと思います。

「ストレス耐性」というと、ストレスに耐える強靱な精神力とか忍耐力とか、そういうイメージを持つと思います。ある意味ではそうかもしれませんが、小柳憲司氏は、「しなやかさ」であり、「いかにやりすごせるか」であるといえます。この「しなやかさ」は、

- 1 「うまくいかないときに周りに助けを求めることができる力」
- 2 「機が熟するのを待てる」「うまくいかないときは黙っておける」という力

といえます。この2つは、「自己肯定感」とか「基本的な安心感」が支えになって成り立ちます。

「自己肯定感」は、「自分は役に立っている」「きっとなんとかなるだろう」のような自信で、「やればできる」という気持ちになれることです。

「基本的な安心感」は、「自分はここにいてもいいんだ」「ありのままの自分でも周囲は受け止めてくれる」という気持ちです。「何があっても、うまくいなくても、それでも親は自分のことを大事にしてくれる」という気持ちがあれば、子どもはとても安心できます。

安心感は、周りから与えることができます。ただし、自己肯定感はある程度子どもが自分で動かないと育ってきません。「がんばる」ことは、「我慢する」ことでもあります。「自分がしたいことをちょっと我慢してがんばる」ことは大切なことで、そのベースに「我慢したらいいことがある」という希望があります。その子ががんばって取り組めないのは、自己肯定感が持てないという原因があるからです。

なお、自己肯定感が最近落ちてしまった子どもと、以前からの子どもでは対応が全然異なります。

文献：『特別支援教育』誌 No.13（東京教育技術研究所）より小柳憲司氏（長崎県立こども医療福祉センター）の論文を要約

明日、通知表を配付します

新学習指導要領の完全実施（小学校）を受けて、本校では改訂した通知表に一人一人の成長を記録し、明日、配付します。主な変更点は次のとおりです（詳しくは、明日配布の「通知表の配付について」をご覧ください）。

- 新学習指導要領を受けて、これまでの4観点から、3観点（①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度）になります。
- 「評定」は、年間を見渡した学習状況をお伝えしたいと考え、学年末に記載します。
- 3・4年生の「外国語活動」、5・6年生の「外国語」が評価に加わります。

新学習指導要領を受けて、これからの時代に求められる教育を実現し、学校教育を通じてよりよい社会を創るという理念を共有し、お子様のよりよい成長を目指して、学校と家庭、地域の連携・協働を大切にしていきたいと考えております。通知表がその一助となるよう努めてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

<御 礼>

先日、中洞の新野様より児童と職員にえだ豆をいただきました。また、(株)ジブラルタ生命保険様より職員用の透明マスクを提供いただきました。皆様、誠にありがとうございます。この1学期は、ほんとうに皆様に支えていただきました。深く感謝申し上げます。